

# 自分で治す 医療に依存しない！ 自分で自分を治療する 脱病院



たいら手の外科・整形外科

東京都日野市石田2-9-17  
多摩モノレール万願寺駅徒歩3分  
TEL.042-587-5530

<http://www.taira-tenogeka.com>

【診療時間】月・火・水・木・土  
9:00-12:00/14:00-17:30

【休診日】金曜・日曜・祝日

## たいら手の外科・整形外科 院長 平良 貴志

多摩モノレール万願寺駅から徒歩3分のところ(日野市石田)にある、たいら手の外科・整形外科。手や肘に関する症状を専門的に診察しているが、病院からの脱却を図る治療現場として注目されている。充実した施設に医療、スポーツ、リハビリそれぞれのスペシャリストが集結し、総合的に回復をサポートするのだ。「医療現場は飽和状態にあり、脱医療が必要だ」と主張する平良院長にお話を伺った。(取材:藤波辰爾)

### 痛み止めは最良の手法なのか

画一的な痛み止めを処方する医療に対して、果たして治療と呼べるのかと疑問でした。独立開業した時、かねてから信条にしていた「それぞれの患者さまにとって最良の状態こそ、治療である」という院内指針を掲げました。他の病院とは異なり、運動のためのフットネス施設を備え、リハビリテーション部門を設け、そこに医療を担う診察室を併設しています。理学療法士、ハンドセラピスト、運動トレーナー、管理栄養士などさまざまな役割を持つスペシャリストが集い、相互連携しているのです。すべての最終ゴールは患者さまが自分にあつた方法を使い、病院に来なくても、自分で治療を続けて頂けることにあります。

### 話題の運動療法を实践

私は東洋医学や世間一般に効果があるとされている事柄に興味を持ちますが、それは総合医療をどのように実践していくかというテーマと密接に関わっています。例えば、効果的な運動療法として話題である『マッケンジー法』については、当院は日本で2番目に国際協会の認定を受けた医療施設でもありません。日本に3名しかいない上級インストラクターのうち1名を招き、痛みの治療の主軸として組み入れました。また、当院では日常のエクササイズや食事の指導を行うほうが痛み止めの薬を処方するより重要と考えています。

### 医療家として世の中に貢献

私の専門は手や肘の外科ですが、肩首腰膝などの症状にも対応しています。けれども、そこに痛みがおこったからといって、一概に痛む箇所の問題があるとは限りません。他の専門家を紹介するために、スピーディーかつ確実な判断をすることも私の大切な仕事です。総合医療をテーマに体制を充実させてきました。今後は規模を広げるのではなく、より質を高めることで、他分野に派遣できるスペシャリストを輩出することが目標です。



「手」をモチーフにしたロゴマークは、院長の遊び心によって「ももクロ」カラーにデザインされています。

院長 平良 貴志

日本手外科学会 専門医  
国際マッケンジー協会 認定セラピスト  
日本体育協会 認定スポーツドクター  
日本整形外科学会 専門医  
日本整形外科学会 リウマチ認定医  
日本整形外科学会 リハビリテーション認定医

### Dragon Recommendation

私も腰の手術やしびれと戦いながら今がある。他人まかせではなく、雑誌の特集に目を通したり、専門家に話を聞くなど、見聞を広めながら付き合っていく現状。病院依存社会と対峙するドクターがいることに深く感じ入った。

